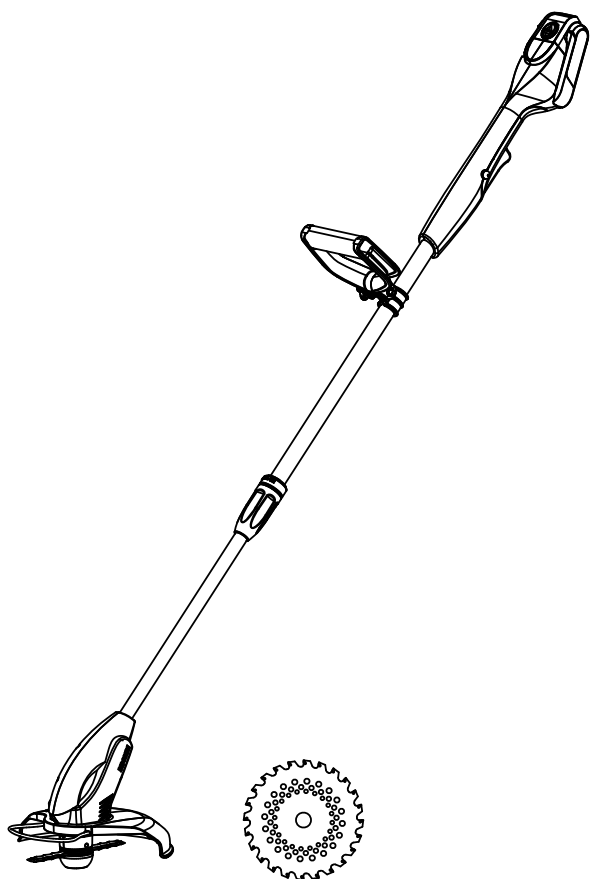


# スマートコーシン

共通バッテリーシリーズ

# KOSHIN



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございますございました。

- ・ご使用前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- ・お読みになった後も保管してください。
- ・取扱説明書を理解していない人は、本機の操作を行わないでください。
- ・本機を他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

なお、保証書に購入店などの記載がない場合は、レシートなどを貼り付けておいてください。

## 警告

- 指定純正品以外のオプション品、交換用パーツなどは使用しない  
刈刃が外れるなどしてケガの原因となります。

仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

## SGR-1820/18N **18V Li-ion** 充電式グラストリマー 取扱説明書 (保証書付)

### 用途

雑草の草刈り

用途以外の目的に使用しないで  
ください

### 目次

はじめに	
各部の名称	2
パーツのご注文は	3
安全上のご注意	4
準備	
ご使用になる前に	12
運搬する場合は	19
使用方法	
草を刈る	20
使用後は	24
保守・点検	
「故障かな？」と思ったら (故障と処置)	25
その他	
仕様	27
保証書	28

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

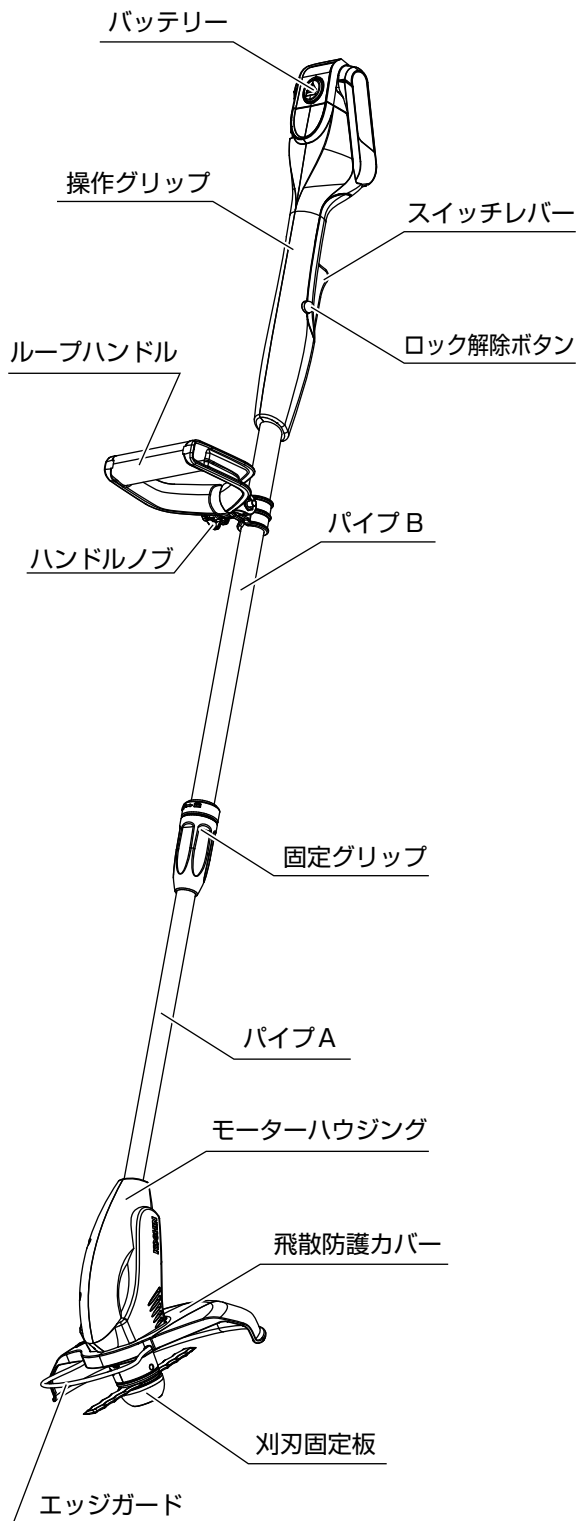
株式会社 **工進**

20-11 056079602

# 各部の名称

同梱されている付属品がすべてそろっているか確認してください。

特に記載の無いものは各1点です。



<機種別標準付属品表>

名称・イラスト		SGR-1820	SGR-18N	
	18V 2.0Ah バッテリー (PA-332) JAN: 4971770-560154		○	×
	18V 急速充電器 II (PA-430) JAN: 4971770-560727		○	×
刈刃	チップソー		○	○
	ブレード (5枚)		○	○
	飛散防護カバー (エッジガード付き)		○	○
	六角レンチ		○	○
	ループハンドル/ ハンドルノブ		○	○
	ボックスレンチ		○	○
	保護メガネ		○	○
	取扱説明書		○	○

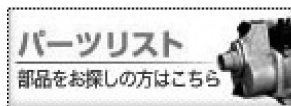
# パーツのご注文は

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。

パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。また、下記に記載の無いものも併せて、弊社公式 Web サイトにてパーツ表、価格をご覧ください。

**ご注文時のお願い** 部品番号（7～9桁）または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

- パーツ表・単価**
- 1) <http://www.koshin-ltd.co.jp>
  - 2) トップページ「パーツリスト」バナーをクリック



## オプションパーツ（別売拡張部品）

どの機種にどのパーツが標準付属しているかは、前のページでご確認ください。

名称	機種名・JAN	備考
18V バッテリー（2.0Ah）	機種名：PA-332 JAN：4971770-560154	専用充電器：PA-430, 333
18V バッテリー（2.5Ah）	機種名：PA-380 JAN：4971770-560192	専用充電器：PA-430, 333
18V 急速充電器 II	機種名：PA-430 JAN：4971770-560727	—
替ブレード	機種名：PA-433 JAN：4971770-560802	10 枚入り
ショルダーベルト	機種名：PA-388 JAN：4971770-560222	—

はじめに

準備

使用方法




保守・点検

その他



# 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>危険</b>	人が死亡、または重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。
 <b>警告</b>	人が死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	人が損傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。


- お守りいただく内容を区分して説明しています。


 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
---	---


- その他の表示：**取り扱いのポイント** …正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

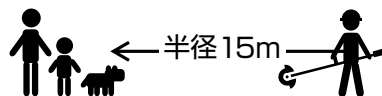
## 危険


### グラストリマーに関する注意事項


-  飛散防護カバーをはずした状態で使用しない  
小石が飛散するなどして事故やケガのおそれがあります。


-  刈刃（チップソー、ブレード）と飛散防護カバーは正しい組み合わせで使用する  
ケガのおそれがあります。

-  使用中は危険防止のため、半径 15m 以内に他の人や動物を近づけない  
事故の原因になります。




-  2人以上で作業を行うときはお互いに 15m 以上の間隔を取る。また、監督者をおく  
使用中、15m 以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちに本機を停止し作業を中止して、注意をうながす  
不本意に他の人や動物などを近づけると事故の原因になります。

-  本機を使用している人に近づくときは、使用者から 15m 以上離れた位置で合図し、本機の停止と回転の停止を確認してから近づく  
不用意に近づくと使用者が気がつかず事故の原因になります。

-  使用する前に必ず周囲に人や動物がいないことを確認する  
特に高所作業のときは、下に他の人や動物がいないことを確認する  
確認しないで使用すると、事故の原因になります。

### 充電式工具に関する注意事項

-  部品類は必ず取扱説明書に従って確実に取り付ける

## 警告

### グラストリマーに関する注意事項

**!** 作業場所付近に、電線などが無いことを作業前に十分確認する  
誤って電線を切断すると、感電のおそれがあります。本製品は感電防止の絶縁処理は行っていません。

**⊘** 無理な姿勢で作業をしない  
転倒し、ケガの原因になります。

**!** 刈刃（チップソー、ブレード）から手や足が離れていることを確認してからスイッチレバーをにぎる  
ケガの原因になります。

**!** 使用中は、本機を両手で確実に保持するその際、ループハンドルは常に乾いた状態にし、手が滑らないようにする  
確実に保持していないと、ケガの原因になります。

**!** 使用中、本機の調子が悪いときや異常音がしたときは、直ちにスイッチレバーから手を離し、点検・修理を依頼する  
そのまま使用していると、ケガの原因になります。

**!** 使用中に刈刃（チップソー、ブレード）が石などの障害物に当たったときは、すぐに本機を停止させ異常がないかを調べる  
そのまま使用していると事故の原因になります。

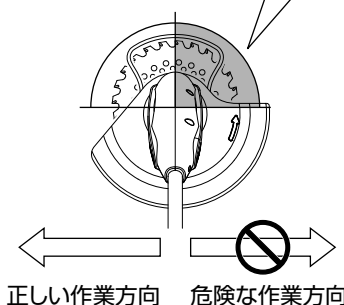
**⊘** 刈刃（チップソー、ブレード）で打つ、たたくなどの方法で草刈り作業をしない  
キックバック（跳ね返り）や刈刃の破損が発生し事故の原因になります。

**⊘** 枝打ち作業・壁や岩などに生えている草刈り作業などには使用しない  
ケガや事故の原因になります。

**⊘** 腰より高い位置での作業はしない  
ケガや事故の原因になります。

**!** 使用中のキックバック（跳ね返り）防止のため、刈刃（チップソー、ブレード）を右から左に操作して草刈り作業を行う  
キックバック（跳ね返り）が起これば、本機が思わぬ方向に動き、ケガや事故の原因になります。

キックバック（跳ね返り）  
この範囲で刈刃が硬いものに当たると、反動で作業側（自分の方向）に本機が跳ね返され、危険です。



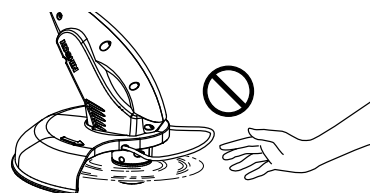
**!** 作業時に適した服装で作業する  
(20 ページ「服装について」参照)

**⊘** 髪、衣服、手袋などは回転部に近づけない  
回転部に近づけると巻き込まれてケガの原因になります。

**!** 長い髪は束ね、帽子やヘアカバーなどで覆う  
回転部に巻き込まれケガの原因になります。


**⊘** 手ぬぐいやタオルを首、腰から下げて作業しない  
回転部に巻き込まれケガの原因になります。

**⊘** 使用中および運転を停止した直後は回転部に手足や顔などを近づけない  
運転を停止した後も回転部がしばらく動いているので注意してください。ケガの原因になります。




## 警告


### 充電式工具に関する注意事項

 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地などの不安定な場所では使用しない

転倒してケガの原因となります。


 本機の能力に合った負荷（切断対象、運転時間など）で作業する

無理な作業は事故の原因になります。また、作業能率が悪くなります。


 本機を雨の中で使ったり、雨ざらしにしたりしない

ぬれた物を刈ったり、ぬれた場所で使用・保管したりしない


感電によるケガ、焼損・発火による火災、本機の故障のおそれがあります。

 点検の際は、スイッチレバーから手を離し、バッテリーを本機から取り外す

守らないと、本機が誤始動し、ケガの原因になります。


 バッテリーを取り付ける際は、スイッチレバーから手を離す

電源が入の状態ではバッテリーを取り付けると不意の始動により事故の原因になります。

 充電器の電源プラグに合っていない電源コンセントを使用しない

電源プラグを改造しない


守らないと、感電の原因になります。

 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしない


電源プラグを抜くために電源コードを引っ張らない

電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけない


電源コードが損傷したり、絡まったりして感電の原因になります。

 可燃性の液体、ガス、粉じんのある所で使用しない


本機から発生する火花が発火や爆発の原因になります。


 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させない

感電の原因になります。


 取説記載内容以外の分解、修理、改造は絶対に行わない

異常作動してケガをするおそれがあります。


 誤った部品を取り付けたり改造しない  
思わぬ事故の原因になります。刈刃は弊社指定のものをご使用ください。

 本機、付属品、工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて使用する


指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

 取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業する


注意不足が重大な事故の原因になります。

 作業場は明るくする

作業場が暗いと、事故の原因になります。

 作業場は整理整頓する

作業場が散らかっていると事故の原因となります。

 使用前および定期的に保守点検を行う

保守点検が不十分であると、事故の原因になります。

・可動部分の位置調整およびネジなどの締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。特に刈刃が正しく回転するか、またガタつきがないか確認してください。







・本機は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

・安全に能率良く作業していただくために、使用後は刃物類に付着した草を取り除き、きれいな状態を保ってください。







## 警告

### 充電式工具に関する注意事項（つづき）

- |   |   |
|---|---|
| <p> 次のときは本機を使用しない<br/>事故の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 疲れているとき、身体が不調のとき。</li><li>・ 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。</li><li>・ 夜間の使用や悪天候などで視界が悪いとき。</li><li>・ 妊婦による作業。</li></ul> | <p> 子供には本機を貸さない<br/>本機の取り扱いの知識が不十分な場合、事故の原因になります。</p>                          |
| <p> 本機、充電器、バッテリーに幼児・子供が触れないよう、隔離措置をして安全な場所で運転する</p>  | <p> スイッチレバーに指をかけて運ばない<br/>不意に始動してケガの原因になります。</p>                               |
|   | <p> 本機のバッテリーを取り付ける前に、工具などは、必ず取り外す<br/>電源を入れたときに、取り付けした工具などが回転してケガの原因になります。</p> |
|   | <p> 使用しない本機は、安全に保管する<br/>(24 ページ「保管」参照)</p>                                    |

## 注意

### 充電式工具に関する注意事項

- |  |   |
|--|---|
| <p> 誤って、ぶついたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検する<br/>破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。</p>                                       | <p> 万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場近くに備え付ける<br/>救急箱から持ち出した場合には、直ちに交換品を補充してください。</p>          |
| <p> 定期的に休息をとる<br/>本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがあります。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じる場合があります。</p> | <p> 充電器およびバッテリーの端子に手を触れない<br/>感電のおそれがあります。また、充電器およびバッテリーが静電気により破損する可能性があります。</p> |
| <p> 使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがないか確認する<br/>不完全な本機を使用するとケガの原因になります。</p>   | <p> ロック解除ボタンを押した状態で固定しない<br/>事故の原因になります。</p>                                     |

# 安全上のご注意

## 取り扱いのポイント

- ・ 極端な高温や低温の環境下では使用しないでください。十分な性能を得ることができません。

## 警告ラベルのメンテナンス

- ・ 本機には、警告ラベルが貼付されています。
- ・ 警告ラベルが見えにくくなった場合や、はがれた場合にはお買い上げの販売店に注文し、貼りかえてください。

## 整備について

本機は、専門家による純正部品だけを用了修理により安全性を維持することができます。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を發揮しないだけでなく、事故やケガのおそれがあります。

- ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火や異常動作により、ケガをするおそれがあります。
- ・ 本機の発熱や異常に気づいたときは点検・修理に出してください。修理は、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

## その他の注意事項

- 1) 損傷した部品がないか点検してください。不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを取り外し、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
- ・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を發揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発煙・発火、感電、ケガの原因になります。

## 〈異常・故障例〉

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズなどの破損や変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。
- ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ 電源を入れても動かない。

- 2) 正しい付属品やオプション品を使用してください。本誌および弊社カタログに記載されている付属品やアフターパーツ、オプションパーツ以外のものを使用すると、事故やケガの原因になります。

## ■ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

## バッテリー・充電器について

### ⚠危険

## ■ ご使用上の注意

- ・ 水・海水などで濡らさないでください。異常な電流、電圧でバッテリーが充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ ストーブなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ バッテリーは、本機および指定の充電器専用です。指定機器以外の用途に使用すると、異常な電流が流れ、バッテリーが破損する可能性があります。発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になります。
- ・ バッテリーをご使用の際は、つぎのことを必ず守ってください。
  - ・ バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしないこと。発熱、破裂、発火の原因になります。
  - ・ 強い衝撃を与えたり、改造したりしないこと。発熱および発火のおそれがあります。



## 安全上のご注意

### ⚠ 危険

#### ■ 充電時の注意

- ・弊社指定の充電器・バッテリーを使用し、弊社指定の充電条件を守ってください。その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧／大きな電流、または改造した充電器など）で充電しますと、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・バッテリーはプラスとマイナスの向きが決まっています。充電器や機器に接続する時にうまくつながらない場合は無理に接続しないでください。
- ・火のそばや、炎天下駐車の中などでの充電はしないでください。高温になると充電出来なくなったり、異常な電流や電圧で充電されたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。

### ⚠ 警告

#### ■ ご使用上の注意

- ・電子レンジや高圧容器に入れしないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・バッテリーの使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついた時は、本機あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になります。
- ・バッテリーが漏液したり異臭がしたりする時には直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。
- ・バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因になります。
- ・バッテリーを運ぶときは収納するケースの中のバッテリーが動かないようにしっかりと梱包してください。破損や金属端子のショートの原因になるおそれがあります。

### ⚠ 警告

- ・本機や電源コードの接続部、充電端子部に金属類をさし込まないでください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。発火の原因となります。
- ・ぬれた手で充電器の電源プラグの抜きさしをしないでください。また電源プラグは根元まで確実にさし込んでください。感電や発火の原因となります。

#### ■ 取扱いについて

- ・充電器の電源プラグのほこり等は定期的に取り除いてください。ほこり等がたまとショートして発火の原因となります。
- ・充電器の電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、コードの上に物を載せないでください。電源コードが破損やショートするなどで、発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因となります。
- ・本機、バッテリー、充電器は、乳幼児・子供の手の届かないところに置いてください。不用意な取扱いをすると危険が伴います。

#### ■ 充電時の注意

- ・充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止してください。バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になるおそれがあります。
- ・この充電器はリチウムイオンバッテリー専用です。バッテリーを充電する以外の用途には使用しないでください。充電器が発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・必ず指定された電源を使用してください。他の電源で使用すると、充電器に過大電圧が加わったり過大電流が流れたり、バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や、本体が発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因となります。

## 安全上のご注意

### ⚠注意

#### ■ 充電時の注意

- ・使用環境温度範囲以外での充電はバッテリーを発熱、破損させる原因やバッテリーの性能や寿命の劣化につながるおそれがあります。バッテリーの使用環境温度範囲は 27 ページ「仕様」をご覧ください。
- ・バッテリーの充電中に、可燃物を上に載せたり、覆ったりしないこと。バッテリーを発熱、破裂、発火させるおそれがあります。

#### ■ 取扱いについて

- ・バッテリーが漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。
- ・直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所に放置しないでください。バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。
- ・バッテリー端子に手や金属製工具などで触れないでください。静電気によりバッテリーが破損するおそれがあります。
- ・充電器の電源プラグを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードを持って電源プラグを抜くと、コードがショートし発火や感電の原因になるおそれがあります。
- ・湿気やほこりの多い場所では使用または保管しないでください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による漏電、発火、感電の原因になるおそれがあります。
- ・電源プラグや充電端子部に、金属製のピンやごみを付着させないでください。ショートによって発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・充電器が異常と思われたときには、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。

### ⚠注意

- ・充電器の上に物を載せたり、落下しやすいところに置いたりしないでください。充電器が外部の力や衝撃で内部回路が破損し、使用時に発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。

### 取り扱いのポイント

- ・使用環境温度範囲以外での使用はしないでください。この使用環境温度範囲以外ではバッテリーの性能や寿命の劣化につながるおそれがあります。バッテリーの使用環境温度範囲は 27 ページ「仕様」をご覧ください。
- ・取扱説明書に記載している充電時間以上の長時間の充電をしないでください。
- ・バッテリーを長期間使用しない場合は、機器から外して湿気の少ないところに保管してください。機器に接続したままや湿気の多いところに保管しないでください。
- ・充電完了後は、充電器からコンセントを抜いてください。
- ・長期間ご使用にならなかったバッテリーは十分に充電されないことがあります。バッテリーは長期間使用しない場合でも、1年に1度は満充電にしてください。
- ・バッテリー端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪いと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。
- ・バッテリーからの異臭や液漏れがないかを定期的に確認してください。

#### ■ バッテリーの寿命について

- ・バッテリーには寿命があります。機器の使用時間が短くなった時は、新しいバッテリーとお取り替えください。

## 安全上のご注意

### 取り扱いのポイント

#### ■ 延長コードについて

延長コードを使用する時は、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

〈使用できる延長コードの太さ(導体公称断面積)と長さの目安〉

コードの太さ (導体公称断面積)	コードの長さの目安
2.0mm <sup>2</sup>	30m まで

# ご使用になる前に

## 充電について

- ・お買い上げ時や長期間充電しなかった場合は、ご使用前に満充電になるまで正しく充電してください。
- ・本機使用直後のバッテリーは熱を持っているため、風通しの良い日陰などに置いて1時間以上冷ましてください。バッテリーの温度が適切でないと充電ができないことがあります。

## 取り扱いのポイント

- ・充電中にバッテリーや充電器が温かくなりますが、異常ではありません。

## バッテリーの取り付け方 / 取り外し方

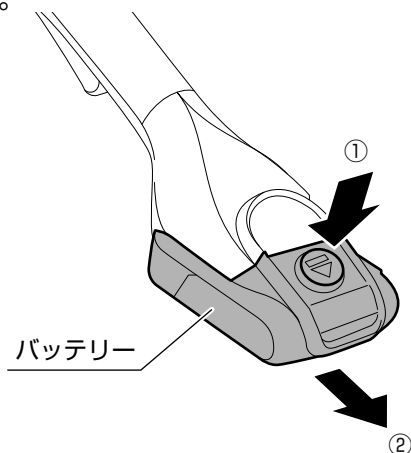
### ⚠ 警告



バッテリーは本機に確実にしっかり取り付ける

取り付けが不十分な場合、外れて事故の原因になります。

- ・バッテリーを本機に取り付けるときは、本機の溝に合わせて奥までさし込んでください。このとき、「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。
- ・取り外すときは、バッテリー正面のボタンを押しながら (①) スライドさせると (②) 取り外せます。



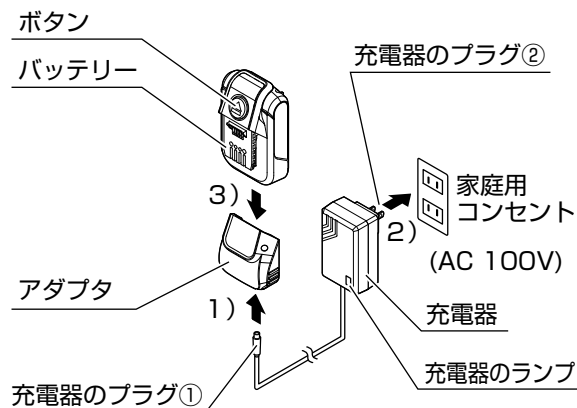
# ご使用になる前に

## 充電のしかた

- 1) 充電器のプラグ①をアダプタにさし込む。
- 2) 充電器のプラグ②をコンセントにさし込む。
- 3) バッテリーをアダプタにさし込む。

下の表のように充電器または、バッテリーのランプが点灯し、状態をお知らせします。ランプが切り替わるタイミングは実際の状態と数秒ずれる場合があります。

- 4) 充電が完了したら、ボタンを押しながらバッテリーをアダプターから取り外す
- 5) コンセントから充電器のプラグ②を抜く。

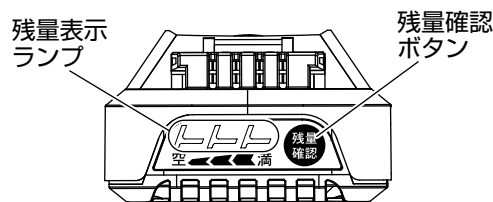


### ＜バッテリーを充電器にさし込んだときのランプの見かた＞

充電器	状態	処置 / 備考
ランプ □点灯 ■消灯		
■ 緑点灯	満充電（下表を参考にバッテリーの残量確認ボタンを押すと確認できます）	バッテリーが高温だと満充電であっても本機が動かない場合があります
	バッテリーがさし込まれていない	バッテリーをしっかりさし込む
	バッテリーの温度異常（考えられる原因：使用直後や、暑い自動車内に保管したとき）	高温の場合はバッテリーが冷めるよう風通しの良い日陰などに置く
■ 赤点灯	充電中	充電を続ける
■ 消灯	充電器の破損（考えられる原因：落下、水漏れ、端子に金属などが接触など）	本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
■ 赤 / ■ 緑交互に点滅	バッテリー過放電、故障	

### ＜バッテリーの残量確認ボタンを押したときのランプの見かた＞

バッテリーの残量確認ボタンを押すと、バッテリー残量に応じてランプが光ります。ランプはボタンを押している間だけ光ります。



バッテリー	状態	処置 / 備考
残量表示ランプ ◀点灯 ▶消灯		
 2～3点灯	バッテリー使用可能	バッテリーが高温だと満充電であっても本機が動かない場合があります
 1点灯	バッテリー残量少なめ	充電する
 消灯	バッテリー使用不可 バッテリー、充電器の破損（考えられる原因：落下、水漏れ、端子に金属などが接触など）	本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

## ご使用になる前に

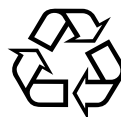
### バッテリーを長持ちさせるには

- ・本機の力が弱くなってきたと感じたら使用を中止し、充電してください。
- ・満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・充電は使用環境温度 5 ～ 40℃の範囲で行ってください。
- ・長期間ご使用にならない場合、バッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

### バッテリーの回収について

使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しています※。本誌裏表紙に記載の「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

※工進商品のバッテリーに限ります



リチウムイオンバッテリーは  
リサイクルへ

**Li-ion**

### ⚠注意



本機および充電器を廃棄するとき、バッテリーを取り付けたまま一般家庭ゴミとして廃棄しない

### バッテリーの寿命について

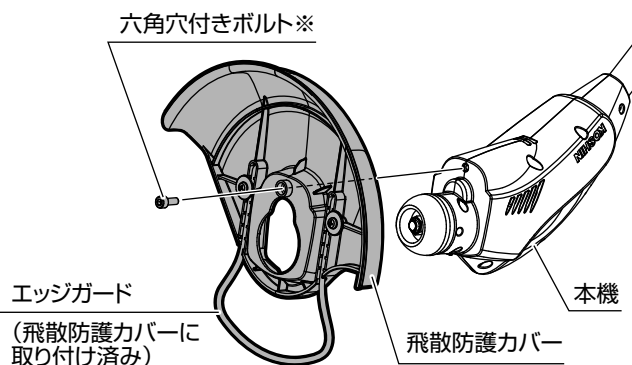
- ・満充電後も作業できる時間が短くなる（目安：初期の半分以下）ようであれば、バッテリーを交換してください。バッテリーは充放電を繰り返すと次第に容量が少なくなり、バッテリーの交換が必要になります。これはバッテリーの特性によるものであり、故障ではありません
- ・リチウムイオンバッテリーは、メモリー効果（継ぎ足し充電を繰り返すと、バッテリー残量が見かけ上、低下する現象）がないため、タイミングを気にすることなく、いつでも継ぎ足し充電ができます。
- ・寒い環境ではバッテリーの容量が少なくなり、作業時間が短くなることがあります。暖くなる（バッテリーが適温になる）と回復します。
- ・バッテリーは使用しなくても自然に放電します。自然に放電した分は、使用前に充電すれば回復します。



# ご使用になる前に

## 飛散防護カバーの取り付け

飛散防護カバーは作業者の方に異物が飛ぶのを防ぐ役目があります。飛散防護カバーは必ず所定の場所に確実に取り付けてください。



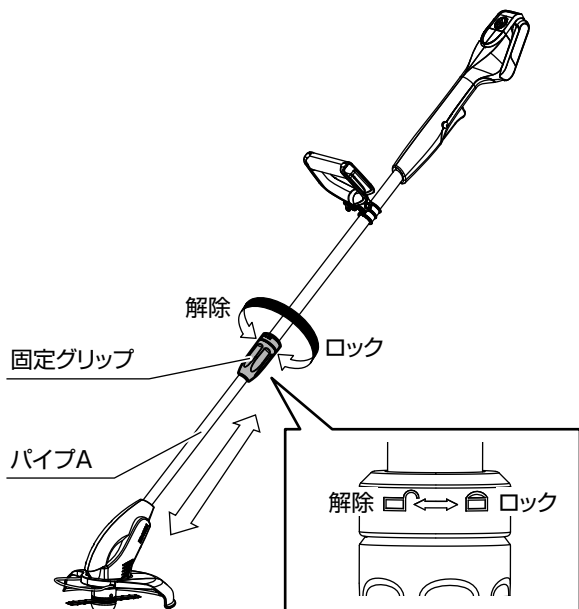
※六角穴付きボルトは製品に仮締めされていますので、一度外していただいてから飛散防護カバーに取り付けてください。

## パイプ長さの調整

パイプ A は固定グリップを解除方向 (D) へ回すとゆるみ、パイプ長さを調整することができます。調整後は固定グリップをロック方向 (A) に回してしめ、パイプ長さを固定してください。運搬時は安全のため、パイプ長さを縮めて固定することをおすすめします。

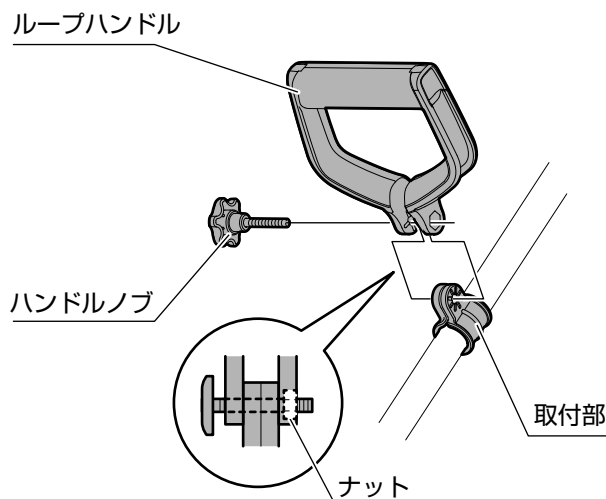
### 警告

**!** 固定グリップをゆるめるときは、本機からバッテリーを取り外す  
不意な作動によるケガの原因になります。



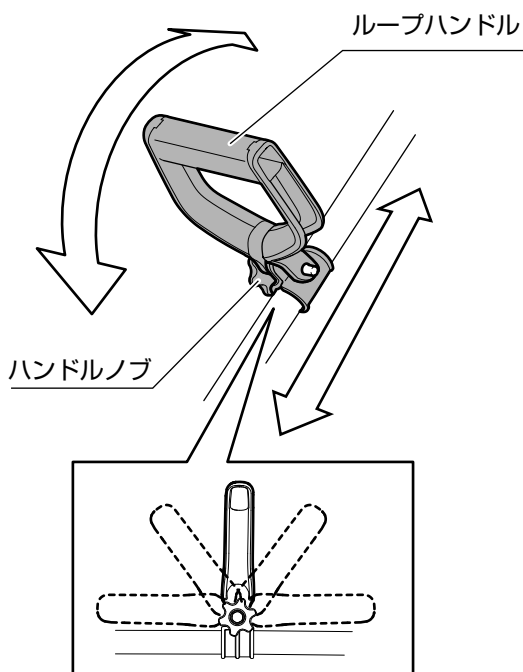
## ループハンドルの取り付けおよび位置・角度調節

1) 本機の取付部にループハンドルを取り付け、ハンドルノブを仮締めする。



2) ループハンドルの位置および角度を調節し、ハンドルノブをしっかりと締める。

ループハンドルの位置および角度を調節する場合は、ハンドルノブを時計回りに回してゆるめ、ループハンドルの位置および角度を調節します。調節が終わったらハンドルノブを反時計回りに回し、しっかりと固定してください。



### 取り扱いのポイント

・図はハンドルノブが右手側の場合を示していますが、左手側でも取り付けが可能です。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

## ご使用になる前に

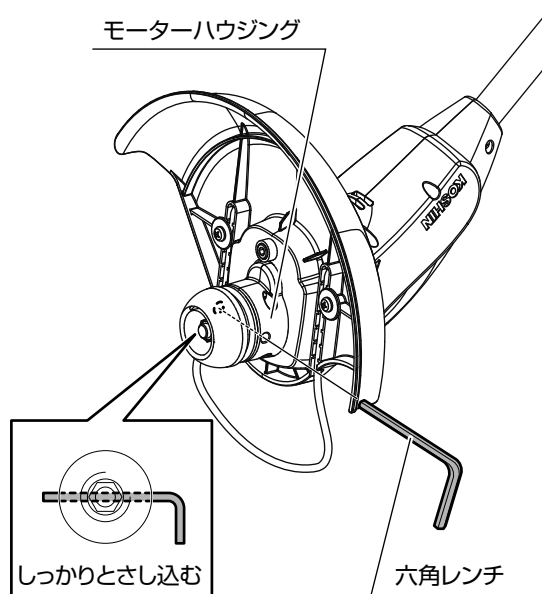
### 刈刃の取り付け

#### ⚠ 警告

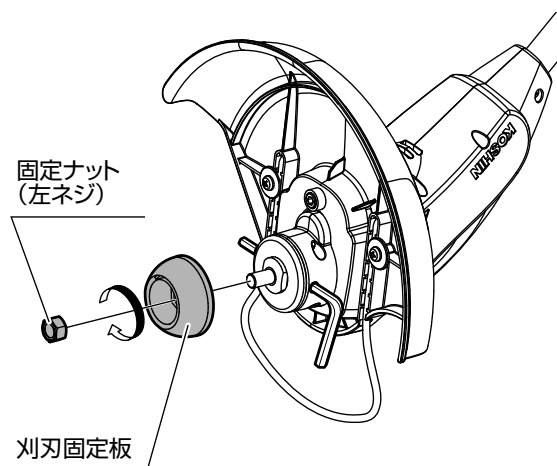
- !** 刈刃（チップソー、ブレード）は、工進純正品を使用する  
純正品以外のもを使用するとケガをしたり、モーターが焼きついたりするおそれがあります。
- !** 刈刃（チップソー、ブレード）の取り付け、取り外しの際はスイッチレバーから手を離してからバッテリーを取り外す
- !** 刈刃（チップソー、ブレード）を取り扱う際は必ず手袋をする  
ケガの原因になります。
- !** 刈刃（チップソー、ブレード）の取り付け、取り外しには、必ず付属のボックスレンチを使用する  
付属工具以外で締め付けた場合、締め過ぎや締め付け不足となり、事故の原因になります。
- !** 刈刃（チップソー、ブレード）を取り付けるときは、刈刃（チップソー、ブレード）の取付け穴を刃受金具の凸部に確実にはめ込む  
正しく取り付いていないと異常振動し、事故の原因になります。
- !** 刈刃（チップソー、ブレード）にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しない  
異常があると刈刃が破損し、ケガの原因になります。
- !** 作業時、刈刃（チップソー、ブレード）に異常が発生したときは、スイッチレバーから手を離してからバッテリーを取り外し、刈刃の回転が止まったことを確認してから点検、交換を行う
- !** 刈刃（チップソー、ブレード）を固定する固定ナット、刈刃固定板は消耗品のため、摩耗や変形があれば、交換する

### 刈刃を固定するための部品類を取り外す

- 1) 付属の六角レンチをモーターハウジングの穴にさし込み、奥の本体回転軸の穴までさし込む。  
本体回転軸が固定され、刈刃固定板などが回らなくなります。



- 2) 固定ナット（左ネジ）を付属のボックスレンチで時計回りに回して各部品を取り外す。

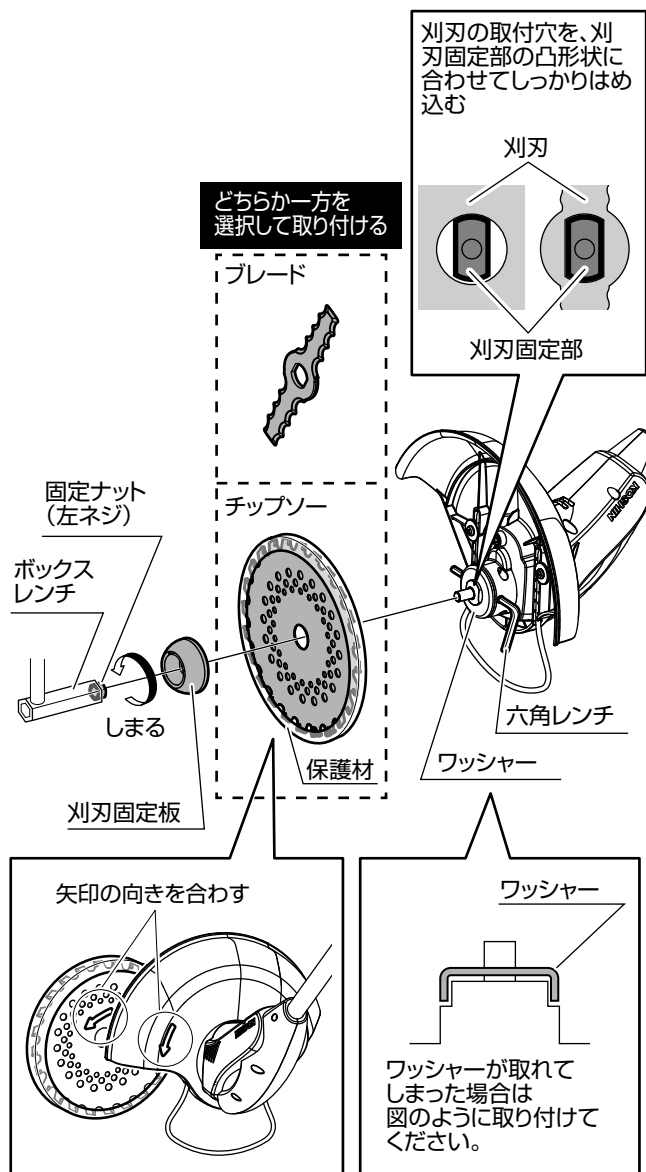




# ご使用になる前に

## 刈刃を選んで取り付ける

- ・ 下図を参考に取り付けてください。
- ・ 刈刃はチップソーかブレードを選び、どちらか一方を取り付けて使用してください。



## ⚠ 危険



六角レンチは本体回転軸の奥までしっかりさし込む

さし込まれていないと固定ナットの締め付けが不十分となり、使用中に刈刃が外れるおそれがあります。

- ・ 取り付けが完了したら六角レンチとボックスレンチを手で軽く回し、刈刃が正しく取り付けられていることを確認してください。刈刃を正しく取り付けしていないと異常振動し、ケガの原因になります。
- ・ 取り付けが完了したら六角レンチとボックスレンチを外して保管してください。

## 刈刃の取り外し

取り付けと逆の手順で取り外してください。

## 本機の持ち方

### ⚠ 警告



本機の操作は慎重に行う



近くにいる他の人に本機が接触しないように注意する

ケガや事故の原因になります。



バッテリーはカチッと音がするまで本機にしっかり取り付ける

差し込みが不十分な場合、外れて事故の原因になります。

本機を体の右側にし、右手で操作グリップ、左手でループハンドルを保持してください。



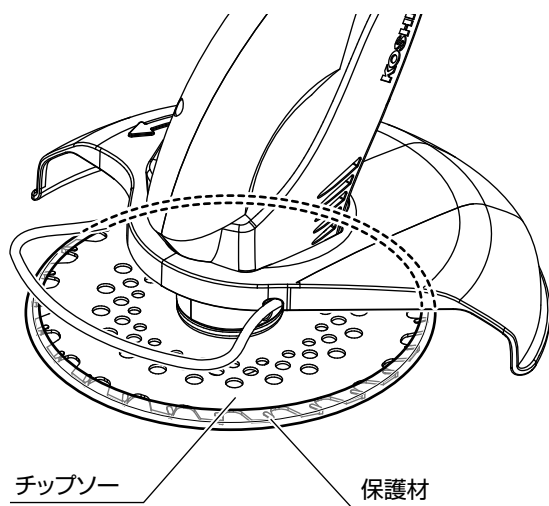
## ご使用になる前に

### スイッチ類の操作

#### ⚠ 警告

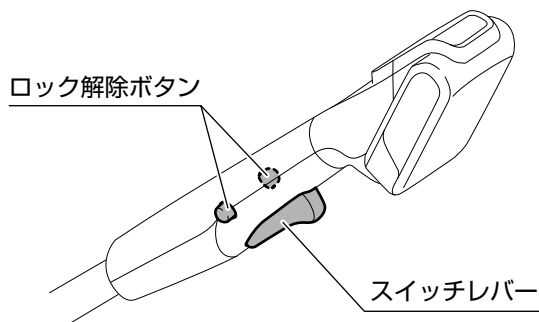
- ❗ スイッチレバーから手を離してから本機にバッテリーを取り付ける  
ケガの事故の原因になります。
- ❗ スイッチレバーをにぎる前に、刈刃（チップソー、ブレード）の部分から手や足が離れていることを確認する  
ケガの原因になります。
- 🚫 雨の中や水のかかる場所では使用しない  
雨や水で濡れている、または濡れた手で本機を操作すると、感電の原因となります。  
また、故障の原因になります。

#### 1) チップソーから保護材を取り外す。



#### 2) ロック解除ボタンを押した状態でスイッチレバーを握り、刈刃を回転させる。

ロック解除ボタンは、左右どちらの方向からでも押すことができます。



- 3) スイッチレバーから手を離し、刈刃の回転を止める。

#### 安全装置

スイッチレバーを離すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチレバーをにぎれない状態になります。

# 運搬する場合は

本機を車両などで運搬する場合には、以下を必ず守ってください。

1) スイッチレバーから手を離す。

2) バッテリーを取り外す。

バッテリーを取り付けたまま運搬すると、破損や金属端子のショートの原因となります。

取り外したバッテリーおよび本機、充電器の取り扱いは以下を守ってください。

## 危険



強い衝撃を与えない

水にぬらさない

炎天下の車中など高温になるところ、火気のそば、直射日光の当たるところに長時間放置しない

## 警告



ボルト、針金、金属工具などがバッテリーおよび本機、充電器に触れないようにする

一緒に持ち運ぶなどするとバッテリーがショートし、発熱、破裂、発火のおそれがあります。



バッテリーが漏液して液が目に入ったり、皮膚や衣服に付いたりしたときは、ただちにきれいな水で洗い流して医師の治療を受ける

3) バッテリーおよび本機、充電器が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載し、ロープなどでしっかり固定する。

## 警告



本機を立てて運搬しない

故障の原因になります。



本機を車に積んだまま長時間悪路を走行しない

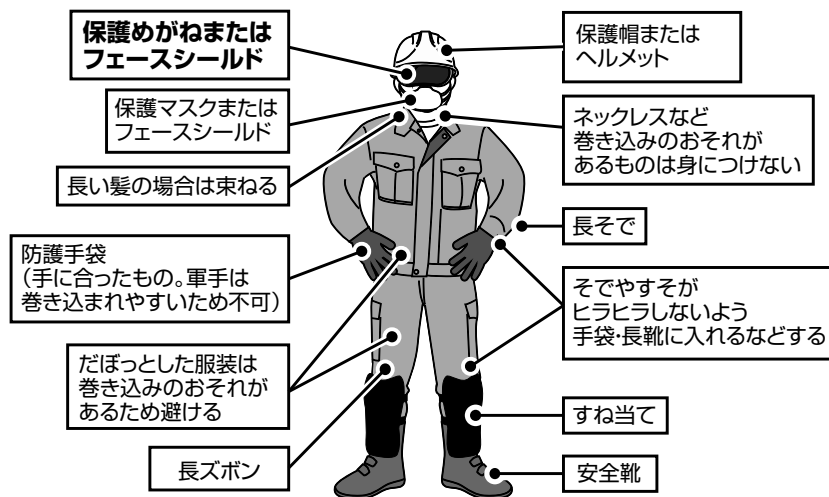
本機が転倒し、思わぬ事故の原因となります。

# 草を刈る

## 服装について

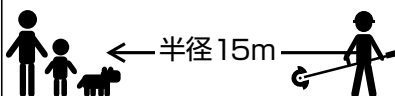
草刈時は石やゴミを巻き上げたり、本機の回転部に巻き込まれるなどしてケガをするおそれがあります。下図のような安全な服装で作業を行ってください。

※以下の手袋や帽子は付属していません。別途ご用意ください。

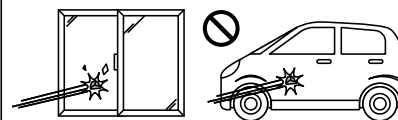


## 作業時のチェックポイント

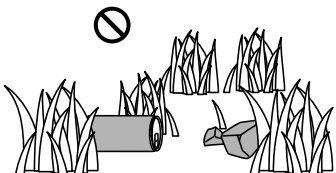
- ① 半径15m以内に人や動物はいませんか?  
いる場合は安全のため本機を使用しないでください。



- ① ガラス窓や車など、傷をつけたくない物が近くにありませんか?  
飛散した小石でガラスが割れたり、傷がつくおそれがあります。板などで養生するか、移動させる等してください。

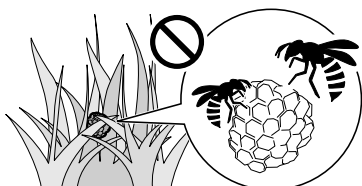


- ① 小石や空き缶などの障害物が草に隠れていませんか?  
飛散すると危険なため、事前に取り除いてください。



- ① 草むらの中や付近の高所にハチの巣やヘビが隠れていませんか?  
作業前に静かな状態で下見をしてください。

作業音はハチに刺激を与え、またハチの出す警告音をかき消します。



- ① 水田など水たまりはありませんか?  
回転部が水にふれると、まき上げた水がモーター部に入り故障の原因となります。



# 草を刈る

## 草の刈り方

### ⚠ 警告

❗ 刈刃（チップソー、ブレード）に草などがからみつき掃除などが必要になった場合は、本機からバッテリーを取り外し、刈刃（チップソー、ブレード）の回転が停止したことを確認してから取り除く  
刈刃が回ったままだとケガの原因になります。

⊘ 刈刃（チップソー、ブレード）で打つ、たたくなどの方法で草刈り作業はしない  
キックバック（跳ね返り）や刈刃の破損が発生し事故の原因になります。

⊘ 雨上がりなどの足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しない  
ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所で使用しない  
転倒してケガの原因になります。

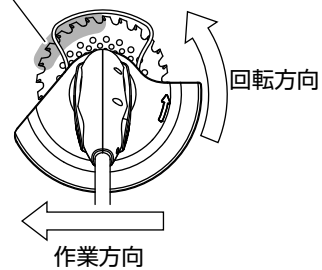
- ・ 特に刈刃の固定ナットなど、各部にゆるみや異常が無いか確認してください。（17 ページ「刈刃を選んで取り付ける」参照）
- ・ 刈刃を固定する固定ナット、刈刃固定板は消耗品のため、摩耗や変形があれば、交換してください。
- ・ 両手で本機を保持し、両足に平均に体重がかかるように適当に開いてください。
- ・ 本機は、身体の前方で右から左へ操作しながら前進し、草を刈ってください。

このとき刈刃を左側へ少し傾けますと、刈った草が左側に寄り能率的に作業が行えます。



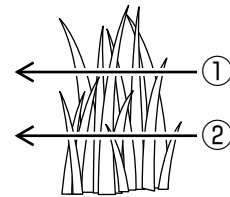
- ・ 刈り残しをなくすために、刈刃の先端から1/3の範囲を刈ってください。

刈刃の直径  
1/3を使用



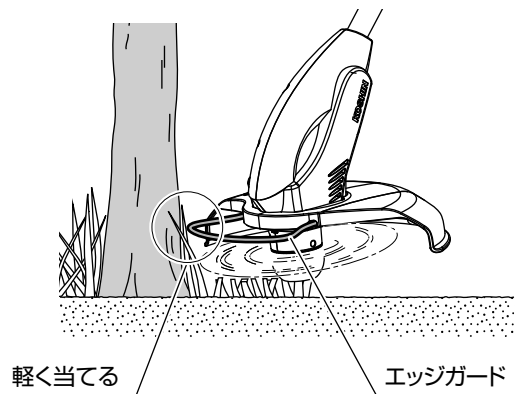
- ・ 草が高く繁っているときは、まず草を高く刈って障害物がよく見えるようにしてから、もう一度刈り取ってください。

高さのある草を一気に刈ると本機に刈った草がからみつき、故障の原因になります。



## キワ刈り（木や庭石周りの草刈り）のしかた

本機を地面に接触しない高さで傾けて保持し、エッジガードの先端を木や庭石に軽く当て、刈刃が木や庭石に当たらないよう注意しながら草を刈ります。  
ブレードを使用するとより安全に作業ができます。



### ⚠ 危険

- ⊘ 刈刃（チップソー、ブレード）を樹木やブロックなどに当てない  
キックバック（跳ね返り）が起こりケガをするおそれがあります。

# 草を刈る

## 連続使用について

目安として、満充電のバッテリーを1回使い切る毎に、20分程度の休憩をとってください。その際、本機・バッテリーは日陰に置き冷ましてください。熱による本機、充電器、バッテリーへのダメージを防ぎます。

## 保護機能

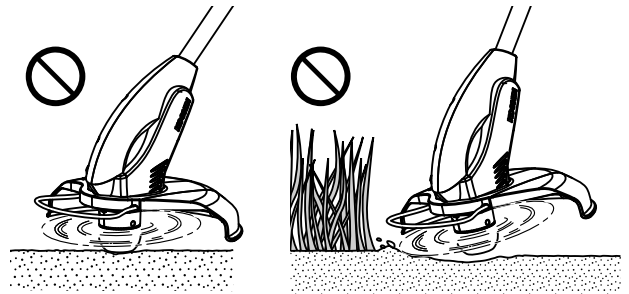
モーターやバッテリーを守るため本機には保護機能が付いています。そのため、本機を使用中に下記の状態になるとモーターが自動停止します。

- ・ **バッテリーが高温になるとモーターが自動停止します。**  
スイッチレバーを操作してもモーターは停止したままです。この場合はバッテリーの使用を中止し、本機からバッテリーを取り外し、バッテリーを冷ましてください。
- ・ 本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。この場合は本機からバッテリーを取り外した後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再び使用できます。
- ・ バッテリーの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。スイッチレバーを操作してもモーターは停止したままです。この場合は本機からバッテリーを取り外し、バッテリーを充電してください。
- ・ 長期間保管後などバッテリー残量が極端に少なくなると保護機能が働き通常より数十分程度充電時間がかかる場合があります。

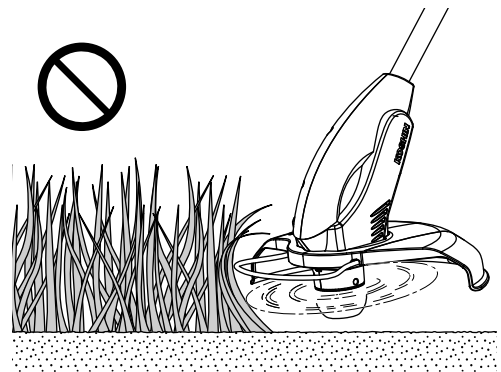
## 取り扱いのポイント

- ・ バッテリーは、温度が10～30℃の状態での充電をおすすめします。使用温度（5～40℃）以外だと充電ができないことがあります。
- ・ 充電中にバッテリーや充電器が温かくなりますが、異常ではありません。

- ・ 本機を地面に当てたり、地面を掘り返すような使い方はしないでください。モーターに過剰な負担がかかり、故障の原因になります。

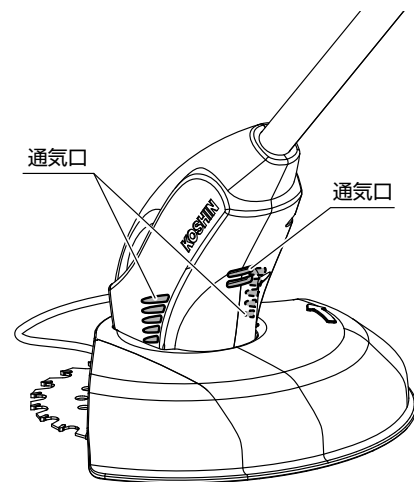


- ・ 密集した草の中に本機を押し付けしないでください。



## 取り扱いのポイント

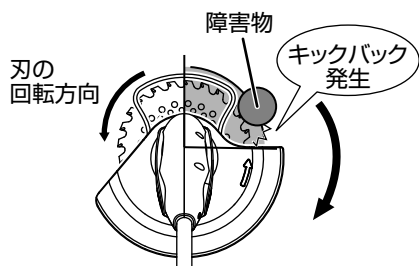
- ・ モーター冷却用の通気口に草や土がつかまらないよう注意してください。故障の原因となります。



# 草を刈る

## キックバック（跳ね返り）について

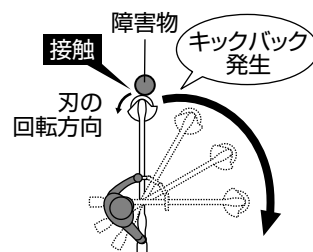
- 使用中に、刈刃の先端から右側部分が石などの障害物や硬い地面に当たると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、作業者の右側に向かって跳ね返すキックバックが発生します。



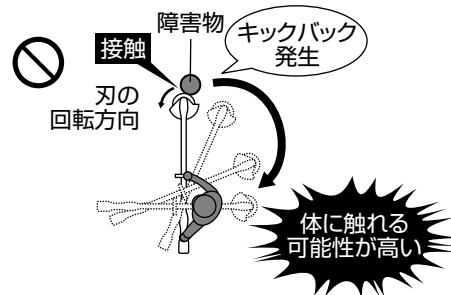
- 草などで隠れている小石や空き缶などに刈刃が当たって、キックバックを起こすことがあります。周りに障害物がないかよく確認してから作業してください。



- 万一キックバックが発生しても、危険性を最小限にするため、本機を身体の右側にして作業してください。作業者を中心にして、刈刃が回転するため、身体に直接接触する危険性が少なくなります。



草刈機が体の右側にある場合



草刈機が体の左側にある場合

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

# 使用後は

## 使用後の手入れ

### ⚠ 警告



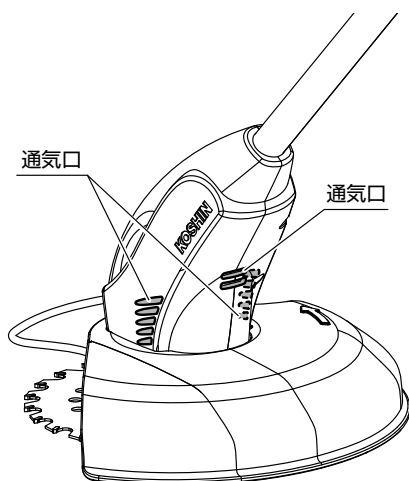
本機に水をかけて洗わない

バッテリーの異常（発熱など）によるケガ、人体への感電および本機が故障するおそれがあります。

#### 1) スイッチレバーから手を離し、本機からバッテリーを取り外す。

バッテリーを本機にさし込んだまま手入れを行うと、事故の原因になります。

#### 2) ブラシなどで刈刃やモーター冷却用の通気口周辺の草や土を落とす。



#### 3) 乾いた布で全体をきれいに拭く。

汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を布につけて拭き、その後乾いた布で拭いてください。水分が残るとサビや故障の原因となります。

### 取り扱いのポイント

- ・ 水およびガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。サビや故障の原因になります。

#### 4) バッテリーを満充電にする。

バッテリーの劣化を防ぎます。

## 保管

#### 1) 左記の「使用後の手入れ」をすべて行う。

#### 2) 本機、バッテリー、充電器ともに下記のような場所を避けて保管する。

- ・ 乳幼児、子供の手の届く所や簡単に持ち出せる所
- ・ 熱源のそばや、真夏の閉め切った自動車内など高温になる所
- ・ 湿気の多い所
- ・ 温度や湿度の急変する所
- ・ 直射日光の当たる所
- ・ 揮発性物質の置いてある所

特にバッテリーは本機から取り外し、充電器とともに以下に注意して保管してください。

### ⚠ 危険



強い衝撃を与えない

水にぬらさない

炎天下の車中など高温になるところ、火気のそば、直射日光の当たるところに長時間放置しない

### ⚠ 警告



ボルト、針金、金属工具、およびホコリやゴミがバッテリーおよび充電器の端子に触れないようにする

バッテリーおよび通電した充電器がショートし、発熱、破裂、発火のおそれがあります。

### 取り扱いのポイント

- ・ 飛散防護カバーや刈刃に負担がかかる状態で保管しないでください。変形、破損する可能性があります。

## 長期保管のときは

バッテリー保護のため、バッテリーを満充電にしてから保管してください。また、その後も1年に1回は満充電にしてください。



# 「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご依頼ください。

★：お問合せの多い項目

★各種ランプの見かた	充電器およびバッテリー	13 ページ
------------	-------------	--------

トラブルの症状	考えられる原因	対策	参照ページ
本機が動かない	バッテリーが充電されていない	充電を行う。	13 ページ
	バッテリーが接続されていない	バッテリーを接続あるいは奥まで差し込む。	12 ページ
	★ 本機またはバッテリーの温度が高い（使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる）	本機およびバッテリーを風通しの良い日陰に置くなどして冷ます。（水にぬらさない）	12 ページ
	スイッチレバーを深くにぎれていない	スイッチレバーをカチッと音がするまで握る。	18 ページ
	スイッチレバーをにぎれない	ロック解除ボタンを押しながら操作する。	18 ページ
	充放電を繰り返す、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する。	14 ページ
	部品（モーター、スイッチ等）が故障している	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	—
満充電してもバッテリー残量がいつもより早くなる	想定を上回る硬さの切断対象、または長時間使用している	本機の能力に見合った対象・時間で使用する。	27 ページ
	気温が低く、バッテリーの温度が低すぎる	バッテリー温度が 5～40℃の間になる環境で充電する。（推奨：10～30℃）	14 ページ
	充放電を繰り返す、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する。	14 ページ
充電に時間がかかる	バッテリーの温度が低い	バッテリー温度が低いと充電しにくいことがあるため、5～40℃の間になる環境で充電する。（推奨：10～30℃）	14 ページ
	バッテリー保護機能が働いている	そのまま充電を続ける。	22 ページ
充電ができない：充電器のランプが、緑点灯から赤点灯に切り替わらない	★ 本機またはバッテリーの温度が高い（使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる）	本機およびバッテリーを風通しの良い日陰に置くなどして冷ます。（水にぬらさない）	12 ページ
	バッテリーが充電器の奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む。	13 ページ
充電ができない：充電器のランプが消灯のまま	充電器の電源プラグが奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む。	13 ページ
	バッテリーまたは充電器が破損している	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	—

## 「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご依頼ください。

★：お問合せの多い項目

トラブルの症状	考えられる原因	対策	参照ページ
草刈時に停止する	回転部、飛散防護カバーなどに異物が挟まっている	異物が挟まっていないか点検・確認し、異物を取り除く。	21 ページ
	切断対象が硬すぎるなどして過負荷がかかっている	負荷を減らす	—
	★ 本機またはバッテリーの温度が高い（使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる）	本機およびバッテリーを風通しの良い日陰に置くなどして冷ます。（水にぬらさない）	12 ページ
	バッテリーの容量が少なくなっている	充電を行う	13 ページ
パイプの長さが調整できない	ロックがかかっている	固定グリップを解除位置へ回す。	15 ページ
	外部からの衝撃などにより破損した	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	—
本機から異音がしている	飛散防護カバーなどに異物が挟まっている	異物が挟まっていないか点検・確認し、異物を取り除く。	21 ページ
	モーターが焼けている	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	—
★通気口内部に火花が見える	モーターの仕様であり、異常ではありません	—	—
充電器のランプに異常がある	充電器が破損している	13 ページの「充電器のランプの見かた」の表に当てはまらない場合、お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	13 ページ

※ 破損の原因になる例

炎天下の自動車内など、著しい高温または低温にさらした / 金属などが端子にふれた / 水または火、揮発性の物質などにふれた / 落下による衝撃 / 液もれなど。

# 仕様

## 主な仕様

機種名	SGR-1820/18N	
製品名	充電式グラストリマー	
用途	雑草の草刈り	
刈り込み幅	φ 160mm	
電動機	ブラシモーター	
電圧	DC 18V	
回転数（無負荷）	刈刃（チップソー、ブレード）：6,300min <sup>-1</sup> 、ブレード 6,600min <sup>-1</sup>	
★運転時間（満充電・無負荷）※ <sup>1</sup>	約 35 分	
使用環境温度	5 ~ 40℃	
製品重量 ※ <sup>2</sup>	1.8kg	
寸法 (mm)	長さ	1,100 ~ 1,400 (伸縮式)
	幅	225
	高さ	185 ~ 230

## バッテリー

機種名	PA-332
製品名	18V バッテリー (2.0Ah)
種類	リチウムイオンバッテリー
★充電時間 ※ <sup>3</sup>	約 60 分

★部分は【PA-332】18V バッテリー (2.0Ah) (標準付属) を使用した場合の数値です。  
【PA-380】18V バッテリー (2.5Ah) を使用した場合は以下のようになります。  
運転時間：約 43 分  
充電時間：約 75 分

## 充電器

機種名	PA-430
製品名	18V 急速充電器 II
入力電圧 ※ <sup>4</sup>	AC 100V
入力周波数	50-60Hz
入力電力	50W
出力電圧	DC 21.5V
出力電流	DC 2.0A
使用環境温度	5 ~ 40℃

- ※<sup>1</sup> 1 充電あたり。気温など状況により異なります。
- ※<sup>2</sup> バッテリーなど付属品を含む。
- ※<sup>3</sup> 気温やバッテリーの充電残量などにより異なります。特に長期保管後は長くなることがあります。
- ※<sup>4</sup> 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用したりしないでください。発熱・火災のおそれがあります。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

持込修理

レシートまたは  
販売証明書と共に  
保管してください

## 保証書

機種	充電式グラストリマー SGR-1820/18N	*お買い上げ日		年	月	日
保証期間	お買い上げより1年間		* 購 入 店	〒 住所		
お客様	*お名前			氏名		
	*ご住所	〒 電話 ( )			電話 ( )	

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、  
下記記載内容で無料修理をお約束するものです。  
保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、  
下記の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。

株式会社 工進

京都府長岡京市神足上八ノ坪12

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき下記の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
  - 〈イ〉 使用上の誤り、改造、不当な修理、工進指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷。
  - 〈ロ〉 お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
  - 〈ハ〉 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障または損傷。
  - 〈ニ〉 家庭園芸用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障または損傷。
  - 〈ホ〉 本書のご提示がない場合。
  - 〈ヘ〉 本書にお買い上げ年月日、お客様名、購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - 〈ト〉 付属品、消耗品は有料修理となります。
  - 〈チ〉 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障または損傷。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
- 本書は日本国内についてのみ有効です。
- 保証期間経過後の修理などは、下記の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
- 本機が使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、レンタカー代、宿泊代、交通費、休業補償、営業損失など）は補償いたしかねます。

### お問い合わせ相談窓口

お問い合わせの際は、  
型式\*、お買い上げ年月日、  
故障状況などをお知らせください。

※ 型式\* について  
本体または梱包箱への  
貼付ラベルに記載しています。



■ 製品・パーツの販売についてのお問い合わせは……  
購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

■ 製品の修理に関するお問い合わせは……工進修理受付窓口へ

電話 ☎ **0120-987-386** 平日: 9:00~17:00  
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

■ 製品に関するお問い合わせは……お客様相談窓口へ

Eメール [pump@koshin-ltd.co.jp](mailto:pump@koshin-ltd.co.jp) Eメール用  
二次元コード   
電話 ☎ **0120-075-540** 平日: 9:00~17:00  
キョウトのコーシン  
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。